

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第93回放送の概要 (2015年2月28日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
たろう (佃 由晃)
なか (中嶋邦弘)
かりん (妹尾優香)
あな (岸本幸恵)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) JR兵庫駅前の「神戸ルミナスホテル」, 抜群のロケーション、最新の設備と最高のおもてなし、ビジネス、観光の快適な拠点として皆様のお越しをお待ちしております。1階コローレではおいしいコーヒや紅茶、おいしいランチやお食事なども楽しめます。本日は「神戸ルミナスホテル」様 (TEL:078-511-7700) のご協力を頂きました。

1. ゲストコーナー(1): 第5期親善大使「スマイル神戸」 北川有里紗さん

北川さんは、子供の頃は森繁久弥さん、他の子役をしていた。お世話になった俳優さんがどんどん亡くなっているのがせつない。抱っこされている写真が沢山残っている。初舞台は5歳で京都の南座であった。

芸能界が長くなると、社会の大事さと言った普通の感覚がなくなると思い、20歳までは勉強をしようと思い、普通の女の子に戻ることにした。仁川学院中学校・高等学校、大学は甲南女子大学を卒業した。20歳で女優として復帰したが、子役からのブランクが長く、演技ができなくなり、所作を学ぶため日本舞踊を学んだ。しかし本当は別のことをやりたいと思い、一般の社会人になるため25歳で就職した。そこでも自分はこれでいいのかなと思った時、スマイル神戸の応募用紙が会社に届いていたので、5期の募集の時に友達からの勧めもあり、履歴書を書いた。しかし採用の見通しのない無駄な事はやめようと思い、自宅に置いていた。お母さんが申込期限直前に、申込書を送ってくれていた。

子供の頃は出たいという気持ちが強かったが、中高の時に学校で打たれ続け、自分の意見は言っただけいけないと思い、やりたくても手を上げない子供になっていた。母親からはやりたいなら手をあげなさいと言われ、スマイル神戸に応募した。今の自分があるのは、スマイル神戸を経験したからと思っている。これまでの人生で一番大事な1年であった。

阪神大震災について、長い間追悼行事には行きたくないと思っていた。それは追悼行事が辛い、悲しいイメージしかなかったからである。2012年に初めて阪神淡路大震災の追悼行事に参加し、餅つきを10日以上殆ど自分がつき、参加者にぜんざいにしてふるまい、福島にもお餅を贈った。行事が楽しく、過去を見るのではなく、元気になった私達を見てねという明るいものに感じた。その時初めて1月17日は嫌だなという気持ちから解き放たれた。

震災の当日は、中学 1 年で垂水の自宅で寝ていて、凄い音を感じ父親から地震だから起きろと言われた。起きてからは宇宙から魔物が来て、家にとりついたような、怖いという印象しか残っていない。学校は 1 か月間休校で、その後 10 時半までの短縮授業が始まった。朝 5 時に家を出て 5 時間かけて通学した。JR で非常にゆっくりした速度で神戸駅まで行き、長田付近では車内に焦げた匂いが入ってきて、その匂いが記憶に強く残った。神戸駅から三宮まで歩き、阪急の代替バスに乗り換え、10 時に学校に到着した。30 分だけ着席し、10 時半に帰宅を始め、夕方家に帰っていた。何故かその期間は皆勤であった。

震災で北川さん自身は避難などの経験はないが、子供の頃にかわいがってくれた人が亡くなり、大人になって神戸出身ということ、地震の時の生活を聞かれ、家族や周りの人に被害がないので、たいしたことはないねという言い方をする人がいた。通学の大変さや、見た光景は本人しかわからないので、自分が本当の被災者でないのであれば、追悼行事に行ってもいけないと思った。18 年後に実際に追悼行事に行った時、知り合いを亡くした自分も被災者と思い、初めてつらかったことを表に出せた。さくらさんも新長田駅前の追悼行事の手伝いをしていたが、ろうそくにうずくまって泣いて手を合わせている人の横にいた時に、自分はここにいてはいけないと感じた。

2. ミュージック：広い河の岸边（スコットランド民謡） 歌：クミコ、女声合唱団青い鳥

シャンソン歌手クミコさんの歌う、スコットランド民謡「広い河の岸边」です。NHK朝ドラママッサンの主人公、エリーが口ずさむ歌、及び花子とアン（スコット先生）の挿入歌として流れていました。およそ 340 年前にスコットランドで生まれた「The Water Is Wide」です。この日本語版「広い河の岸边」がいま、異例の大ヒットとなっています。また、東日本大震災の復興イベントでも歌われています。



3. ゲストコーナ（2）

親善大使「スマイル神戸」は、全国に出かけ、神戸のPRを行うため、多くの人前でスピーチをする事が多く、このような経験から、スピーチが上手と褒められ、楽しかったので、自分はしゃべるのが好きということを変更して感じた。1 年間のスマイル神戸の経験が、その後のしゃべる仕事に繋がった。

親善大使としてシアトルにまで出かけた。スピーチの場はなかったが、パレードは豪華で、浴衣を着てオープンカーに乗って市内を回った。当時はイチローが有名で、神戸に本拠地があったのでシアトル市民にも神戸が有名で、親日家が多く暖かく迎えてもらった。ホームステイ先のお父さんが日本にいた事があるので日本語がわかり、日本語でお願いすると、それを英語で言えばやってあげると言われた。息子の 3 歳の男の子は、英語で話しかけるとノーと言って発音を直してくれる。ままごとで野菜を示し、これは何ですかと聞かれ、何回も直され 3 回くらいで OK と言ってくれた。



国内のレセプションでは、神戸まつりはスマイル神戸がホスト役で、各都市のミス他が来ており、神戸は上品で、おしゃれで、おしとやかというイメージがあるが、関西人なので違う面を見せなければと

思い、スマイル神戸3人（リーダーは北川さん）で余興をすることにした。当時トンネルズの矢島美容室が流行っていたので、チャイナドレスを着て、アフロなどを被って真似をして踊った。その前に普通では面白くないので、毒舌クイズをした。マイクを持って、「みなさん神戸のイメージを聞きます」と言うと、「おしゃれ」と言うので、「それは聞きあきています」と答え、負けずに面白い事を言おうとするミスもあり、その人の言葉に対し、「ここは、関西ですよ、神戸ですよ、そんな笑いじゃ通じませんよ」と切り返した。夜のパーティなので裏の姿を見せますとって始めているので、毒舌の司会と派手な余興を披露したのが受けて、次の年からスマイル神戸は、普通の余興はダメという伝統になった。北川さん達は、伝説のスマイル神戸と言われた。

そのパーティに熊本県の観光課の専務がたまたま来ており、面白かったと声をかけられ、こんなはちゃけるレディーは見たことないと言われた。8月の熊本火の国まつりに行くことが決まっていたので喜んでくれて、君らが来るなら最高のおもてなしをしようと言ってくれた。スマイル神戸を退任後、しゃべる仕事をするため、ラジオ局で無給でADをしていたことを専務に話した所、ボランティアでも交通費はもらっているとわれ、やりたい事をするのはいいが、ただ働きはやめなさいと言われた。関西で活動するくまモンの横にいるお姉さんを探している人を紹介され、くまモンのお姉さんの仕事が始まった。

兵庫県神戸県民センターのビジョン委員会で「KOBE ビジョンひろめ隊」の活動をしている。今はビジョン委員2期目（3年目）で、ひろめ隊の代表をしている。参加者は年配の人が多く、世間にビジョン委員会の活動はあまり認識されていないので、facebookを通して広報したり、将来はネット放送で番組を作りたいと思っている。facebookやインターネットが使えない人のために、紙媒体で広報もしている。活動しているグループとしては、歴史発見隊、六甲山、裏六甲と呼ばないで、子育て、など多くのグループがある。

北川さんは、戦争体験を、見たり、聞いたりすることについて、強い関心を持って取り組んでいる。見に行った場所としては、沖縄ひめゆりの塔、広島原爆ドーム、大和ミュージアム、長崎などで、興味を持つことについては、子供の頃から自分の立場に置き換えて考えている。戦場に行った人には自分よりも若い人も多く、自分が男性として生まれていると、特攻隊で出撃する時に何を感じて旅立ったのかと思うと、何とも言えない気持ちに襲われる。考え続けると現地に出向き、資料などを見て、気持ちに共感し、考えを深めていく。戦争に興味を持つきっかけは、戦艦大和やゼロ戦は見ているだけで血が騒ぎ、武器としてではなく、見た目の美しさに感動した。同世代の人に美しさをわかってもらうには、ライストーンでデコって、キラキラさせると親しみを持つのではと考えたりする。



阪神海上自衛隊があり、基地では年に何回かイベントが開催される。一昨年の年末行事の餅つきで知り合いになったのは元海軍軍人で、戦争当時の話を聞かせてもらった。戦後70年になり戦争体験者はどんどん減少している。北川さんの聞かれた話を同世代の人に語り継いでほしいと思います。

今後北川さんのやりたいことは、ラジオでコーナを持ってしゃべりたいこと。先日東遊園地のイベント「フラワーテント」でMCをしたが、現場で生で話すことは好きであるが、やはりラジオでしゃべることが一番の夢です。

北川さんは忠臣蔵が大好き。以前は大石主税になりたかったが、大石内蔵助あつての主税であることがわかり、今は違う。しかしどの人の役でもやってみたいと思う。子役時代は演じている感覚はなかった。時代劇の男の子役が殆どで、森繁久弥さんの他、西郷輝彦さん、五木ひろしさん、藤田まことさんなどと共演した。



4. 地域瓦版

- (1) 3月16日(月) 午後 あじさいスタジアム北神戸で第87回選抜高校野球大会(春の甲子園大会)九州地区代表、沖縄の糸満高校野球部と兵庫高校野球部が親善試合をします。これは、兵庫高校野球部出身で、第二次世界大戦、終戦時の沖縄知事だった島田勲先輩の母校ということで実現しました。島田知事は、糸満高校のある摩文仁(まぶに)の丘で最期を遂げたとされています。糸満高校の生徒のみなさんは、島田勲さんを描いたTBS制作のドラマ「生きる」を見てこられます。あじさいスタジアム北神戸は、神戸電鉄「道場南口駅」から徒歩20分。応援宜しくお願いいたします。
- (2) 3月22日(日)13時～、神戸文化ホール 中ホール「第27回定期演奏会」があります。
チケット 前売り 800円 当日 1,000円。
- (3) 3月28日(土) 9時30分～15時 兵庫高校で「ホームカミングディ2015」があります。
兵庫高校野球部 OB 対神戸高校野球部 OB 定期戦応援合戦、53陽会 田辺真人氏の講演「兵庫の歴史から会下山・湊川を考える」などです。
- (4) 今度は現役の生徒のイベントです。3月28日(土)11時～17時、鉄人広場で「第5回長田区・高校生鉄人化まつり」があります。



5. 来月のゲスト

ガールスカウト兵庫県第11団のリーダー、河野真紀さんにお越し頂きます。

ゆ〜かりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>